入院時の持ち物について

下記のものは**持ち込み禁止**となっております

危険　もう１度確認をお願いします

□刃物（ハサミ、カミソリ、爪切りなど）

ハサミが必要になった場合は看護師へお声がけください

爪は入院前に切ってくるようお願いします

□ライター





□たばこ（電子タバコも含みます）



□貴重品（多額の現金等）

貴重品の管理はご自身でお願いいたします。

紛失・盗難等が発生した場合、当方では補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。



皆さまが安全に入院生活を送れるようご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます

令和８年９月改定　静岡医療センター　医療安全管理室

入院患者様・ご家族様へのお願い

入れ歯・補聴器の専用ケース持参について

入院中の入れ歯や補聴器の紛失・破損が多く発生しております。
入れ歯や補聴器は、食事の際や検査・処置時に一時的に取り外すことがあり、ティッシュ等に包んだまま誤って廃棄されるケースや、保管中に破損するケースがみられます。

ご持参いただきたいもの

□入れ歯をお使いの方

→ **入れ歯用ケース**



□補聴器をお使いの方

→ **補聴器用ケース**





※専用のものでなく食品保存容器等でも構いません

入れ歯ケースは売店でも購入できます．アメニティセットにもございます

ご協力のお願い

- ☑ 使用しない時は専用ケースへ
- ☑ ティッシュに包まない
- ☑ 食事トレーやベッド上に置きっぱなしにしない
- ☑ 退院時に持ち帰りを確認する

患者様の大切な持ち物を安全に管理するため、ご理解とご協力をお願いいたします。

静岡医療センター

転倒・転落防止についてのお願い

病院での生活環境は、住み慣れた家庭とは大きく違います。
これに、病気・けがによる体力や運動機能の低下も加わり、思いがけない転倒・転落が発生することがあります。トイレに行こうとして転倒・転落が発生することが多く、骨折や頭部外傷に至る場合があります。
安全で快適な入院生活を過ごしていただくために、患者様及びご家族の皆様のご協力をお願いいたします。

～入院のとき～

過去一年以内の転倒経験を
教えて下さい



※一度転んだことのある高齢者が、再び転ぶ確率は、転んだことのない人の約３倍です。

～履物について～

かかとのある、シューズタイプを着用してください。



※スリッパは履きやすい反面脱げやすく、樹脂サンダルはつまづきやすいので、転倒の原因になります。

※履物のかかとは、潰さずに履いてください。

～足腰の弱り、ふらつきがある場合～

職員を呼び、介助を任せましょう



※職員が忙しそうだからと遠慮したり、一人で歩いてみようと試してみた途端に転倒してしまうことがよくあります。
自分でやろう、と慌てず、遠慮せずに
ナースコールを押してください。

～睡眠薬・安定剤について～

医師・薬剤師等が
相談させて頂く場合があります



ご家族の皆さまへ

当院では、患者さんの尊厳や自由を大切にし、身体拘束を最小限とする取り組みを行っています。そのため、過度な身体拘束によって転倒・転落を防ぐことは行わず、見守りや環境整備などの対策を講じています。しかし、加齢による身体機能の低下、疾患の影響、治療や薬剤の副作用、環境変化等により、転倒・転落を完全に防ぐことが難しい場合があります。
職員一同、転倒・転落防止に努めておりますが、そのリスクを完全になくすことはできないことをご理解いただき、ご家族の皆さまにも安全確保へのご協力をお願いいたします。

静岡医療センター　医療安全管理室

手術する際の装飾品注意事項

★入れ歯・眼鏡・コンタクトレンズ・補聴器



コンタクトレンズは必ず外して入室してください。メガネや補聴器はつけたまま入室可能ですが手術中は外します。ケースの持参をお願いします。入れ歯のある方は外して手術室入室となります。手術室に行く前に外してケースに入れて置きましょう。

★マニキュア・ジェルネイル・つけ爪について





入院前に必ず除去しておいてください。

入院中や手術中は、爪の色を観察して全身状態を確認します。また、爪には体内の酸素量を測定するセンサーを装着するため、爪に色や装飾があると正確な測定ができません。

爪は入院前に切ってきましょう

★指輪について



入院前に必ず外しておいてください

手術中は指がむくみやすく、指輪を着けたままにしていると血行障害を引き起こすおそれがあります。また、やけどの危険があるため、場合によっては指輪を切断して外さなければならないことがあります。

※指輪が外れない場合は、入院前に消防署や貴金属店などへご相談ください。

★刺青（タトゥー）・眉やアイラインのアートメイクについて

色素に金属成分が含まれている場合があり、手術時にやけどを起こす危険があります。また、手術部位によってはデザインのずれが生じることがあります。

※刺青（タトゥー）やアートメイクがある方は、入院時に看護師へお知らせください。

★髪の毛・まつ毛のエクステンションについて



金属やゴムなどの付属品が付いている場合は、やけどの危険があるため事前に外してください。麻酔や手術の方法によっては金属やゴムなどの付属品が付いていない場合も外れてしまうことがありますので、あらかじめご了承ください

★かつらやウイッグについて

かつらやウイッグをご使用の方は、可能な場合は手術室へ入室される前にお外しください。

装着したまま入室していただくことも可能ですが、安全確保のため、手術中は外させていただきます。ご了承ください

静岡医療センター　　医療安全管理室・手術室

検査する際の装飾品注意事項

★入れ歯・眼鏡・コンタクトレンズ、補聴器



コンタクトレンズは必ず病室で外して入室してください。メガネや補聴器はつけたまま入室可能ですが検査中は外すことがあります。ケースの持参をお願いします。
入れ歯がある方は外して検査室へ入室となります。検査に行く前に病室で外してください

★マニキュア・ジェルネイル・つけ爪について





入院前に必ず除去しておいてください

入院中や検査中は、爪の色を観察して全身状態を確認します。また、爪には体内の酸素量を測定するセンサーを装着するため、爪に色や装飾があると正確な測定ができません。
入院前に爪は切ってきましょう

★指輪について



入院前に必ず外しておいてください

検査中は指がむくみやすく、指輪を着けたままにしていると血行障害を引き起こすおそれがあります。また、場合によっては指輪を切断して外さなければならないことがあります。

※指輪が外れない場合は、入院前に消防署や貴金属店などへご相談ください。

★刺青（タトゥー）・眉やアイラインのアートメイクについて

刺青（タトゥー）やアートメイクがある方は、入院時に看護師へお知らせください。

★髪の毛・まつ毛のエクステンションについて



金属やゴムなどの付属品が付いている場合は、事前に外してください。装着したままでもかまいませんが、検査の方法によっては外れてしまうことがありますので、あらかじめご了承ください

★かつらやウイッグについて

かつらやウイッグをご使用の方は、可能な場合は検査室へ入室される前にお外しください。
装着したまま入室していただくことも可能ですが、安全確保のため、検査中は外させていただくこともあります。ご了承ください

静岡医療センター　　医療安全管理室